



人権教育だより

～自分も仲間も大切にできる思いやりの心を育てよう！～

京丹後市立大宮中学校 **Excellent!**

令和2年 11月 12日



No.8



2 学期人権学習



さまざまな性について考えよう

2 学期の人権学習では、内容は各学年で違いますが、「さまざまな性」について考えました。一般的に「性」といえば、生まれもった「身体の性」だと考えがちですが、その他にも自分の性をどのように感じているかという「心の性（性自認）」、恋愛感情を抱く対象となる「好きになる性（性的指向）」等があります。この他にも、服装や言葉遣いなどで自分を「表現する性」などもあります。

同性に恋愛感情を抱いたり、「身体の性」と「心の性」が一致しないなど「性のあり方（セクシャリティ）」は人それぞれであり、単純に「男性」「女性」の2つのパターンに分類できるというものではありません。

レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダーといった「性的マイノリティ（少数者）」を表す言葉の一つとして、これらの頭文字をとって組み合わせた「LGBT」が用いられることもありますが、LGBT以外にも男女どちらにも恋愛感情を抱かない人や、自分自身の性を決められない・分からない人など様々な人がいます。（「LGBTs」「LGBTQ」などと表現されることもあります）

この学習では、LGBTに関して正しい知識を持ち、理解をして、誰もが多様性を構成している一員であることを学んでほしいと思います。

授業の様子 感想



☆この学習で僕は、当たり前のように使っている「普通」という言葉について考えた。性別について世間一般的に考えた

「普通」は男性と女性になってしまう。LGBTsの人たちを普通でないと考えてはいけないと思う。男性、女性以外の性が普通じゃないわけではなく、勝手に決められているだけだ。僕は「普通」という言葉を人に押し付けたくはない。「普通はこうだよ」と人に言った時点で、その相手は自分が普通じゃないと思ってしまうから。

（1 年生男子）

☆もし相談されたり言われたりしたら、きっと数秒フリーズして何が起こったのか理解しようと思えばると思いました。でも、その後には必ず「ありがとう」という気がしました。相談してくれて、伝えてくれて、がんばろうとしてくれて、すべてに「ありがとう」と言う気がしました。受け入れてあげる、それだけで小さな救いになるのだと思いました。

（2 年生女子）



☆ゲイの人などのビデオを見て、周りの人の存在はすごく大切なんだと感じました。浩介はすごく大きな勇気で拓也に話したと思います。拓也がすぐに受け入れるのが難しかったのは、仕方ないことだと思います。でも、その時あかねさんが声をかけてくれる、そのつながりに感動したし、それを聞いて動いた拓也も良い友達だと感じました。浩介やレイさんのような人は、一人で何とかするよりも、私たち周りの人が温かく受け入れることができたなら良いなと思います。でも、私

がもし相談されてもすぐに受け入れられるか正直不安です。だからこそ、私ももっとゲイなどについて知っておきたいなと感じました。人それぞれを知ることによって変わるかもしれないと思います。

(2年生女子)

☆もともとLGBTQに関心があったのもあり、始めから知っている、分かるということが多かったです。でも、マイノリティ当事者の人も過ごしやすくなるには、ということは考えたことがなかったので、難しいなと思いました。これまでの学習を通して、私は「特別」や「少数」ばかりに焦点を当てるのでなく、一人ひとりに目を向けるべきだと思いました。誰もが個性を持っていて、それを迷わず発揮できるようになれば、きっと自然にそれぞれが尊重されるような社会になると思います。(3年生女子)



☆LGBTは最近聞くことが増えたワードで、もちろん知っているけど、いざ考えてみると難しくてどうすれば認め合える社会になるのかというのが、私の中で答えが出ませんでした。口で言うのは簡単だけど、それが行動に移せていないから悩む人がたくさんいるのだと感じました。変わらないといけないのは私たちであると、強く思いました。(3年生女子)

☆これまで「LGBT」について人権学習でやってきました。「男性は男性らしく、女性は女性らしく」や「男性は女性を、女性は男性を好きになる」という固定概念が、今のこの問題を生み出してしまったのではないかと僕は考えました。異性愛、同性愛、両性愛その他たくさんに性的指向があります。男性が女性を、女性が男性を好きにならなければならないという決まりはもちろんなく、性的指向は個人が思う方を認識するのが良いのかなと思いました。

でも、まだこの世の中にはLGBTなどに対して偏見があるのは事実です。その偏見から差別になり、言い出しづらい世の中になってしまっているのではと思いました、そんな世の中を変えるために、まず「LGBT」のことをより多くの人が学び、理解を深め、偏見的な思考をなくしていくことが大切だと思います。誰もが安心して過ごすことのできる世の中にしていくためには、まずは僕たちから動いていこうと思いました。(3年生男子)



12月4日(金)

人権のつとめ～人権意見発表会&講演会

トランスジェンダーの定政輝さん、パンセクシュアルの河崎桃子さんの講演です。

